

令和5年度 事業報告書

“みんなで支えあい、安心して、
いきいきと暮らしていくために、
心をつなぐ福祉の輪”

令和5年3月
社会福祉法人 昭和町社会福祉協議会

住民主体の理念に基づき、地域にある福祉問題を、みんなで考え話しあい、課題の解決に向けて取り組むという活動を通して、地域に働きかけ、福祉コミュニティづくりを推進する役割や住民と関係機関・団体などをつなげていく中核的な組織としての役割が社会福祉協議会には求められていました。地域住民の方や組織・団体の方、社会福祉施設等の福祉関係者および保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざした活動を推進するために、本事業計画書を作成し目的に向かって着実に実施して参りました。

【基本方針Ⅰ】 協働の人づくり

(1) 広報・啓発

① ホームページによる広報

事業内容や予定などを随時更新し、町民の各事業への自発的な参加及び協力を呼びかけました。また、開催した事業の様子を掲載するなど、常に新しい情報を発信し当会の活動への理解を深めました。

② SNS 活用事業

高齢者をはじめ、若年層もターゲットに見据えた広報手段として SNS を使用した情報発信を行いました。

(LINE 登録者数： 344 名)

③ 社協だよりの発行

当会の活動をより身近に知ってもらうため、毎月発行の「広報しようわ」に社協だよりの「まごころ」欄へ掲載し、当会活動への理解と感心を深めました。

④ ボランティアだよりの発行

地域のボランティア活動を紹介し、ボランティアへの理解と関心を深めました。

⑤ 情報ネットワークの推進

当会役員・評議員をはじめ、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体、いきがいクラブ連合会、障がい者福社会、ひとり親家庭福社会等の組織を通じて情報を発信し、町民の社会参加促進や連携強化を図りました。

(2) 福祉教育

① 福祉・ボランティア活動の意識啓発

地域ボランティアの開拓に努め、「地域のために協力したい!」という人を掘り起こし、住民が福祉活動に参加しやすい環境づくりを推進しました。

② ボランティア体験

町内在住の中学生を対象に、ボランティア活動や福祉活動への関心をもつていただくために体験機会の創出を図りました。

(参加者総数： 25 名)

(3) ボランティア育成・活動支援

① ボランティア活動推進事業

健康づくりや生きがいづくり等を支えるボランティアの確保に努め、ボランティア育成のための研修会や情報交換会、資質向上のための先進地視察等を行いました。

(ボランティア視察研修会参加者数： 29名)

- ②ボランティア・NPO ボードの管理
ボランティア募集、環境情報、イベント情報、講座・講演情報、助成金・寄付金等の情報、国際交流・災害支援情報に加え、身近な地域の多種多様な情報を掲示し、ボランティア活動の情報を提供するボランティア・NPO ボードの管理を行いました。
- ③ボランティア登録制度の運営・推進（ボランティア人材バンク）
貴重な経験や豊かな知識、優れた技能等を有する人材を発掘・活用することにより、種々多様なボランティア活動の推進を図りました。
- ④町ボランティア・地域住民活動センター（通称：ボランティアセンター）の運営管理
ボランティア活動の拠点として利用できるよう適切な運営管理に努めました。
- ⑤ボランティア連絡協議会運営支援
登録ボランティア等により組織されたボランティア連絡協議会の運営を支援し、研修会や講習会、情報交換会等の開催を通じてボランティア活動の推進を図りました。
- ⑥ボランティア活動事業への助成
町民の主体的参加と地域連帯に基づき相互に支えあう福祉型まちづくりの実現に資するため、各種活動を実践する民間ボランティアを育成、支援することにより善意活動に取り組みやすい環境づくりを目指しました。
(助成件数： 13件 助成総額： 396,039円)
- ⑦昭和町民とボランティアのつどいの後援
ボランティア相互の交流機会の創出や住民からの理解と関心をよせていただくことを目的に昭和町ボランティア連絡協議会が主催する「昭和町民とボランティアのつどい」を後援しました。
- ⑧ボランティアサロンコーディネーター講習会
健康づくりと生きがいづくり等を支えるボランティアのための講習会を開催し、ボランティア活動の推進を図りました。
(開催回数： 2回 参加者総数： 80名)
- ⑨ボランティア活動保険の窓口業務
ボランティア活動中の様々な事故やケガ、損害賠償責任を補償する保険の窓口業務を行いました。
(保険加入者数： 306名)
- ⑩災害・防災ボランティアの受け入れ体制の整備
発災後、当会職員やボランティア等と協力して災害ボランティアセンターの設置・運営を行えるよう体制を整備することを目的とした実動訓練やそれに伴う養成講座を行いました。さらには、山梨県地震防災訓練（令和5年度開催地：昭和町）へ参加し行政やその他の団体との連携強化や職員等のスキルアップに注力しました。
(養成講座参加者総数： 105名)
- ⑪昭和町住民参加型有償ボランティア事業
日頃生活している地域で誰もが安心していきいきと暮らせるように、日常生活の困りごとを地域で助け合うことができる町づくりに向け、住民参加型による有償ボランティア事業を推進しました。
(依頼件数： 6件 マッチング及び派遣総数： 3件)

- ・相談のみ 3件
- ・受け入れ先の紹介 0件
- ・事前調査による解決 0件
- ・利用者登録数 20名 ※新規登録3名含

⑫ ボランティア切っ掛け事業 ※新規事業

ボランティア活動始める切っ掛けづくりとして、傾聴技術の習得やコーヒーやレクリエーションをテーマとした講座を開催しました。新規ボランティアの発掘と併せて、ボランティア活動への参加促進や育成を図りました。

(参加者総数： 71名)

- ・傾聴講座開催回数： 3回 参加者総数： 33名
- ・コーヒー講座開催回数： 2回 参加者総数： 23名
- ・レクリエーションを作ろう開催回数： 1回 参加者総数： 15名

⑬ いきいきふれあいサロン情報交換会

いきいきふれあいサロンを運営しているボランティア団体の情報共有や研修・交流の場として年度内に3回実施しました。

(参加者数： 38名)

【基本方針Ⅱ】 いきいきとした暮らしを支える基盤づくり

(1) 相談支援

① 総合相談・支援事業

従前の【心配ごと相談事業】と併せて、地域の高齢者等の各種相談に応じ支援策等の助言を行いました。また、相談内容に合わせて必要な機関へ繋げる体制を準備しましたが相談はありませんでした。

② 結婚相談事業

県内在住の独身者に登録していただき、登録者同士の出逢いを応援しました。また、年に2回の計画で登録者以外の方も対象とした出逢いのパーティー「出逢いのとびら」や、広域婚活イベントの共催を行いました。また、令和5年度末で結婚相談所事業は一時休止となりました。

(登録者総数： 115名【男性： 91名 女性： 24名】)

- ・出逢いのとびら参加者数： 20名【男性： 10名 女性： 10名】
- ・広域婚活イベント町内からの参加者数： 11名【男性： 8名 女性： 3名】

(2) 健康づくり・福祉サービス

① 生活支援体制整備事業

昭和町生活支援体制整備事業における、生活支援コーディネーターを当会に配置し、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実が図られるよう体制づくりを推進しました。

- ・2層協議体開催回数： 11回 参加者総数： 156名
- ・活動団体支援回数： 4回
- ・フォーラム開催数： 1回 参加者総数： 62名
- ・フォーラム実行委員会開催数： 5回

② 高齢者ふれあい事業

高齢者相互の親睦と、ふれあいを広げるとともに、地域社会に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、どなたでも気軽に参加できる様々な教室を開催しました。

(開催総数： 65回 参加者総数： 1,108名)

③ウォーキング大会

令和4年度から開始した新しい事業として、高齢者の外出や交流機会の創出を目的に開催しました。また、当会事業への顕在的な参加者以外の方からも参加ができるようなきっかけづくりの場として、参加促進を図りました。

(参加者総数： 39名)

④運動指導事業

運動機能の向上を図るとともに、寝たきりなどの要介護状態になることへの予防を目的として健康体操教室を開催しました。

(開催回数： 24回 参加者総数： 682名)

⑤配食サービス事業

65歳以上の独居世帯及び高齢者世帯並びに身体障がい者であって、心身の障がいや傷病等の理由により調理することが困難な方を対象に健康で自立した生活が送れるよう配食サービスを提供しました。併せて安否確認も行いました。

(配食総数： 2,787食 利用登録者数： 34名)

⑥軽度生活援助事業

在宅の高齢者世帯等を対象として登録ヘルパーを派遣し、家事援助等のより細やかな生活支援サービスを提供しました。

(利用登録者総数： 19名 登録ヘルパー： 4名 総稼働時間： 601時間)

⑦外出支援サービス事業

総合会館の温泉利用者のため、福祉バスに登録ヘルパーが添乗し乗降時の安全確保に努め外出の支援を行う計画でしたがバスの運行はありませんでした。

⑧いきがいクラブ活動支援事業

高齢者の生きがい作りの一環として、『いきがいクラブ活動』が円滑に行えるよう支援を行いました。

⑨ボランティア移送サービス

公共交通機関を利用することが困難な高齢者世帯等を対象に、ボランティア人材バンクを利用した移送サービスの提供に努めました。

(サービス提供件数： 60件 総マッチング件数： 63件)

⑩昭和町住民参加型有償ボランティア事業【再掲】

⑪登録ヘルパー友愛訪問事業

登録ヘルパーにより、一人暮らし高齢者世帯に対し、安否確認を行い、在宅福祉、地域福祉の充実に努める計画でしたが友愛訪問事業の実施はありませんでした。

⑫福祉車両の貸出事業

生活上の支援を必要とする高齢者や障がい者、傷病時の通院等車椅子のまま乗車可能な自動車の貸し出しを行いました。

(貸出件数： 65件)

⑬備品等貸出事業

高齢者や障がい者等の社会参加の推進を図ることを目的に、要綱に基づき当会が所有する備品（レクリエーション用具、ベビーモニター、車椅子や可搬型スロープ等）の貸し出しを行いました。

(貸出総数： 56件)

⑭訪問型介護予防サービス：総合事業訪問型A

高齢者で基本チェックリストの結果により対象となった方、または要支援認定を受けた方が地域で自立した生活を継続できるよう支援員を自宅へ派遣し、軽易な日常生活上の援助を行いました。

(利用登録者数： 2名 登録ヘルパー： 2名 総稼働時間： 136時間)

⑮ボランティア登録制度の運営・推進（ボランティア人材バンク）【再掲】

(3) 経済的支援

①生活福祉資金（総合支援資金）貸付制度の運營業務

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図ることを目的に安定した生活をおくれるよう、資金の貸し付けと必要な相談支援を行う山梨県社会福祉協議会の委託事業の窓口業務を担当しました。また、緊急小口資金等の特例貸付に係る相談支援業務も併せて行いました。

(生活福祉資金 相談件数： 28件 貸付決定件数： 0件)

(緊急小口資金等の特例貸付 償還相談支援件数： 10件)

②臨時特例つなぎ資金貸付制度の運營業務

失業等、日常生活全般に困難を抱えている人に対し、継続的な相談支援と一時的な資金の貸し付け相談を行う計画でしたが、問合せはありませんでした。

③福祉金庫貸付事業

生活に困窮している方や急な出費への対応でお困りの方に、無利子で少額の貸し付けを行ってきましたが、返済が滞っている方への対応に注力いたしました。

④日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の推進

福祉サービスを利用する際のさまざまな手続きや契約、預金の出し入れ、生活に必要な利用料などの支払い手続きや、年金や預金通帳など大切な書類の管理等の支援を行いました。

(利用者数： 9名)

⑤生活困窮者自立支援事業

経済的な困窮により日常生活に支援を必要とする方に対する相談や食料支援を行いました。

(相談件数： 9件)

⑥フードドライブ事業

家庭や職場で余った食料品を持ち寄り、食料の確保が困難な世帯や団体を支援するための活動を行いました。町内のショッピングセンターに協力をいただき、回収箱を設置することで潤沢な食料確保を定期的に行いました。また、2月には緊急食料一時支援事業として食料を提供しました。

・ 当会単独実施の緊急食糧支援件数： 42件

・ 食料収集総計： 819点 530.61kg

・ 緊急食料一時支援世帯数： 45世帯

・ フードバンク山梨との連携支援者数： 18名

・ フードバンク山梨との連携収集総計： 446.85kg

⑦子ども食堂 ※追加事業

児童の孤食の防止と居場所づくりを目的として甲斐市社会福祉協議会との連携を図り町総合会館和室を利用して開催しました。

(参加者総数： 18名)※甲斐市在住者含む

【基本方針Ⅲ】 参加しやすい仕組みづくり

(1) 交流促進

①高齢者の映画鑑賞会

高齢者相互の外出や交流機会の創出を目的に映画鑑賞会「55 キネマ」を開催しました。

(参加者数： 101名)

②多世代間交流事業

昨年度に引き続き、多世代間の交流機会の創出を目的として老若男女問わず共通のテーマを楽しめる内容としてボウリング大会を開催しました。

(参加者数： 32名 うち子ども： 13名)

③ICT（情報通信技術）活用事業

住民相互の交流機会の創出を目的としてタブレット端末やWi-Fi環境を提供し住民の利便性の向上を図りました。

④社協サロン事業

住民が気軽に集まることができる場所の提供をしました。ICT活用事業との連携を図りながら外出機会の創出に繋げ、住民主体のコミュニティへとなるようなきっかけづくりを提供していきました。

(開催総数： 2回 参加者総数： 46名)

・寄せ植え教室 1回 参加者数： 30名)

・整理収納講座 1回 参加者数： 16名)

⑤笑輪社協のアトリエ事業（共同募金配分金事業）

対象に年齢等の制限を設けることなく、多種多様な教室を開催しました。気軽に参加できる交流の場として笑顔の絶えない、心身の健康を保つきっかけを提供しました。

(開催総数： 3回 参加者総数： 88名)

・土器づくり教室： 1回 参加者数： 14名)

・味噌づくり教室： 1回 参加者数： 31名)

・防災キャンプ： 1回 参加者数： 43名)

⑥昭和町ふるさとふれあい祭りへの出展支援

「昭和町ふるさとふれあい祭り」に参画し、ボランティア団体の出展を支援し地域住民とのふれあいを深め、活力ある地域づくりを推進しました。

(出展支援団体：全3団体)

⑦IKUZO プログラム（共同募金配分金事業）

住民相互の繋がりを深める場と機会を通じて、よりよい地域環境と家族の絆づくりのきっかけを提供しました。また、遊びや学びを通じて住民の豊かな心を育み健全な教育の熟成を図ることを目的として親子映画鑑賞会を開催しました。

(参加者数： 179名)

⑧子ども未来創生事業

次代を担う子どもたちの未来を豊かにするきっかけとなる事業として、キャンプ体験事業とのコラボレーションとして防災食作り教室を開催しました。

(参加者総数： 43名)

⑨いきいき・ふれあいサロンの拡充・助成（共同募金配分金事業）

高齢者を社会的孤立から守るなど「自主的な仲間づくり」の場として各地区に設置・

運営されている『いきいき・ふれあいサロン』の活動の支援及び拡充を図りました。
(開催総数： 67回 参加者総数： 1,950名)
(助成総額： 354,974円)
(共同募金を財源とした助成総額： 60,000円)

⑩年末・年始交流会事業（共同募金配分金事業）

住民の主体的な参加によって支えられている福祉活動を支援・推進することを目的として、ひとり親家庭福祉会の開催する年末・年始の交流会事業に助成し、支援を行いました。
(助成額： 35,000円)

⑪e スポーツ活用事業 ※新規事業

「eスポーツを活用した介護予防と地域づくり」をテーマに、各地区のサロン活動や世代間交流など、住民の交流機会の創出の場として提供しました。また、資機材の貸し出しも始めました。
(体験会開催総数： 10回 体験会参加者総数： 516名 貸出件数： 2件)

(2) 連携強化

①情報ネットワークの推進【再掲】

②地域見守りネットワーク事業

高齢者・障がい者・児童が、地域で安心して暮らすことができるよう地域住民と民間事業者等に協力を得て、見守りネットワークの組織づくりを進めました。

③支部社会福祉協議会活動の推進

「福祉のまちづくり」の実現を目指した活動の中核組織として、支部社会福祉協議会を中心に、区、ボランティア等の協力により住民の自立と社会参加を促進しました。

④地域ケア会議との連携

地域福祉計画に基づき、保健・医療・福祉の連携、関係機関や地域関係者との連携による総合的な在宅福祉サービスの提供について検討する計画でしたが、担当課からの招集はありませんでした。

⑤戦没者遺族活動、障がい者福祉活動、ひとり親福祉活動の推進

戦没者遺族団体や障がい者団体、ひとり親団体等の自主的活動に対して支援しました。

⑥中央市・昭和町地域自立支援協議会との連携

昭和町、中央市合同での地域の障がい児者等に対する支援体制の整備及び福祉サービスの充実を図りました。

(3) 機能強化

①社会福祉協議会活動の充実強化

民間組織としての特性を活かし、地域のニーズ、地域福祉の課題に順応できる体制を強化しました。

②職員資質の向上と体制の充実

職員の資質向上や技術の習得等のため研修の開催や各種研修会への参加機会を充実し、質の高いサービス提供ができる体制づくりに努めました。

③理事会、評議員会の充実強化

理事会、評議員会の機能をより一層発揮できるよう、運営の充実を図りました。

- ④個人情報の保護
個人情報を適正に管理するため、個人情報管理者等を定め個人情報の保護に努めました。
- ⑤事務の合理化の推進
業務がより効率的に遂行されるよう、事務の合理化を図りました。
- ⑥地域福祉の拠点として地域福祉センターの充実
地域福祉の拠点として利用しやすい環境整備に努めました。
- ⑦地域福祉センターの運営・管理
地域福祉センターの機器・設備の管理・清掃や、利用運営に努めました。
- ⑧昭和町いきがいクラブ連合会事務局
いきがいクラブ連合会が自主運営組織として活動できるよう支援しました。
- ⑨日本赤十字社昭和町分区事務局
赤十字活動や社資募集運動を支援しました。
- ⑩昭和町赤十字奉仕団事務局
奉仕団員のおこなう研修や訓練、また地域のボランティア活動に参加するために総合的なサポートをしました。
- ⑪昭和町ボランティア連絡協議会事務局
ボランティアグループ同士の結びつきを強め、グループ相互の情報交換を行い、ボランティア活動を円滑におこなえる環境づくりのサポートを行いました。
- ⑫昭和町結婚相談所事務局
結婚相談員の活動の支援をしました。
- ⑬支部社会福祉協議会事務局
地区理事や区長をはじめとする地域住民が一体となった地域福祉活動の推進及び支援をしました。
- ⑭障がい者福祉会事務局
障がい者福祉会の各種事業の推進及び支援をしました。
- ⑮ひとり親家庭福祉会事務局
ひとり親家庭福祉会の各種事業の推進及び支援をしました。
- ⑯遺族会事務局
遺族会の各種事業の推進及び支援をしました。
- ⑰傾聴ボランティア事務局
傾聴ボランティアの活動の推進及び支援をしました。
- ⑱共同募金活動の充実
共同募金について積極的に情報の提供を行うとともに、町民、町内小中高等学校、各区役員、民生委員児童委員協議会、当会関係者及び各企業の協力により募金活動を行いました。

⑱ 賛助会員の拡大

個人会費は1口800円、団体会費は1口2,000円、特別会員1口1,000円以上を基本に依頼し、自主財源の確保のため、会員の拡大に努めました。

⑳ 新たな自主財源の確保

新たな自主財源の確保に努めました。

【基本方針Ⅳ】 安心して地域で暮らせる環境づくり

(1) 災害時支援

① 災害・防災ボランティアの受け入れ体制の整備 【再掲】